

2050年のまちのキャッチコピーを考えよう!

最後に、各地域での方向性等を踏まえて、グループごとに2050年の坂出市全体のキャッチコピーを考えてもらい発表いただきました。

記憶と表現が交差するまち
New culture New Sakai de
世界一幸せなまちへ

昔の芸術・歴史・産業等の文化から将来や今の文化を作る。新しい文化を取り入れ、文化芸術で坂出を発展させたい!



天国に近いまち

葬儀場等が新しくなる、病院もたくさんある。まち全体をバリアフリー化して暮らしやすいまちに。

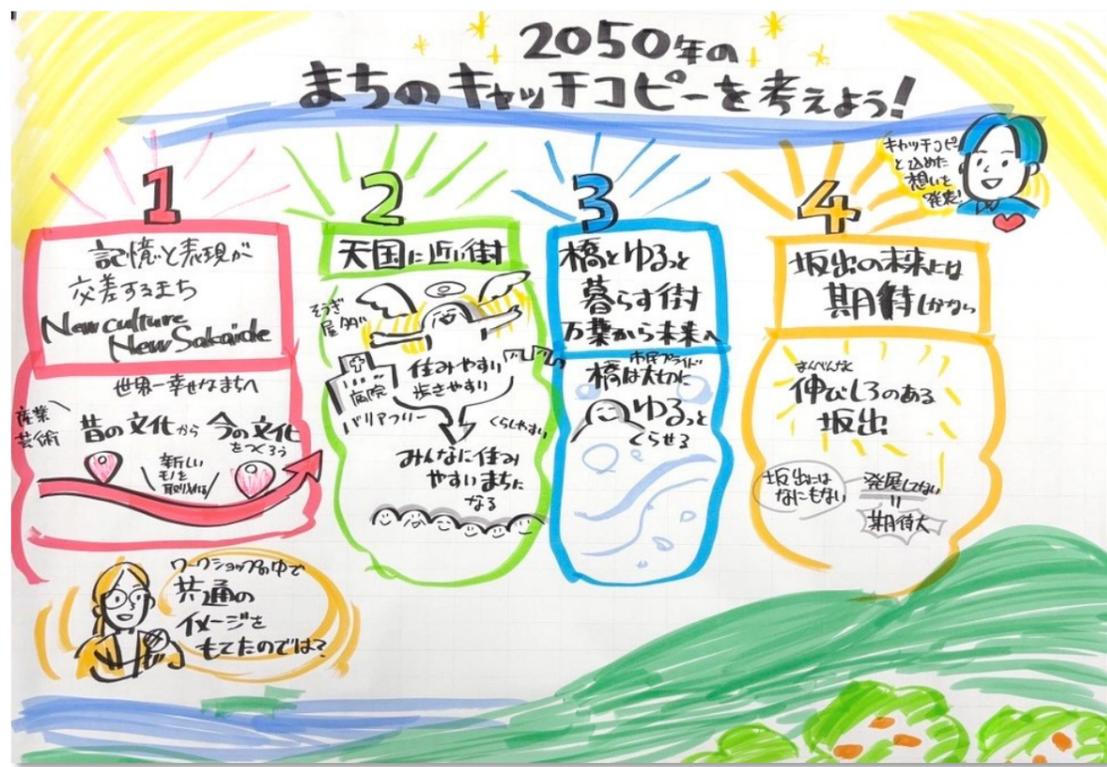
橋とゆるっと暮らす街
万葉から未来へ

橋は大事にしたい。肩肘はらずゆるっと暮らせる。歴史を紡いできたまちの良さを未来へ。



坂出の未来には期待しかない

産業、海、山、教育文化等、満遍なく伸びしろのあるまち!



次回

第3回 未来のまちの重点プロジェクトを考えよう!

日時: 8月9日(土) 13:00~(3時間程度) 場所: 市役所本庁舎 本館2階 大会議室

令和7年7月

No.02

坂出まちづくり ワークショップ ニュース

坂出市 政策課
Tel:0877-44-5001
Fax:0877-44-5032



2回目はまちの地図を使って対話し、 2050年のまちのキャッチコピーを検討しました!

坂出市では、平成28年3月に地域のめざすべき将来像を示した「坂出市まちづくり基本構想」を策定し、これまで市民の皆様との共創によるまちづくりを進めてきました。この度、新しい「坂出市まちづくり基本構想」を策定するにあたって、「めざすべき将来像」や「新しいまちづくり」について、市民の皆様とともに考える「坂出まちづくりラボ」を開催することとなりました。

連続4回の企画で、2回目は、7月26日に開催し、計18名に参加いただきました。ワークショップでは、「2050年のまちのキャッチコピーを考えよう!」をテーマに、まちの地図を使ったワークを通じて、地域ごとの方向性や必要な取組を検討した後、未来のまちのキャッチコピーをとりまとめていただきました。当日はゲストとして、ファシリテーショングラフィックレコーダーのUSANET 合同会社 さのさんにも参加いただき、皆さんの対話をビジュアル化してもらいました。

ワークショップの予定

第1回 **キックオフ!まちの通信簿を考えよう!**
(7月12日)
まちの良いところ、気になるところの整理

第2回 **2050年のまちのキャッチコピーを考えよう!**
(7月26日)
まちの将来像や方向性を検討

第3回 **未来のまちの重点プロジェクトを考えよう!**
(8月9日)
今後10年で特に取り組むべき取組について検討

第4回 **未来に向けて私たちができること**
(8月23日)
自分や地域で取り組めることについて検討

~当日のプログラム~

1. 開会・あいさつ
2. 概要説明、ゲスト紹介(USANET 合同会社さの氏)
3. 前回の振り返り
4. ワークショップ
・方法説明
・アイスブレイク:名札作成と自己紹介
・興味のあるエリアごとにグループ編成
・エリアを対象に、理想のまちの姿や方向性等を検討
・発表
- ・休憩
- ・2050年のキャッチコピーについて検討・発表
5. 閉会

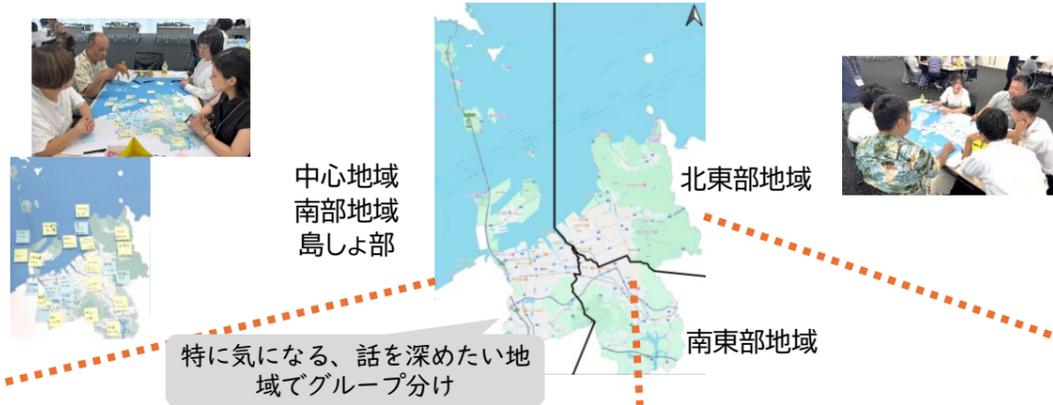
まちづくり基本構想に反映

2050年のまちのキャッチコピーを整理しました！

坂出のまちの地図をつかったワーク

- ・ワークショップでは、坂出市全域の地図を見てもらいながら、まちの好きなところや気になるところについて対話を行いました。
- ・自分の知っている場所や地域だけでなく、おすすめのスポットや、他の地域の現状等について共有できました。
- ・その後、まちを3つの地域※に分けて、参加者が特に気になる、話を深めたい地域を選択して、グループを組み、対話しました。

※都市計画マスタープランを参考に3つの地域に整理



当日のゲスト／

USANET 合同会社代表 さの はるかさん
(ファシリテーショングラフィックレコーダー)



- さのさんは、“見えない想いをカタチにし、未来の幸福を作り出す”を理念に徳島県で活躍されているグラフィックレコーダー※。
- ※グラフィックレコーディングとは、ワークショップの内容をリアルタイムで視覚的に記録すること。

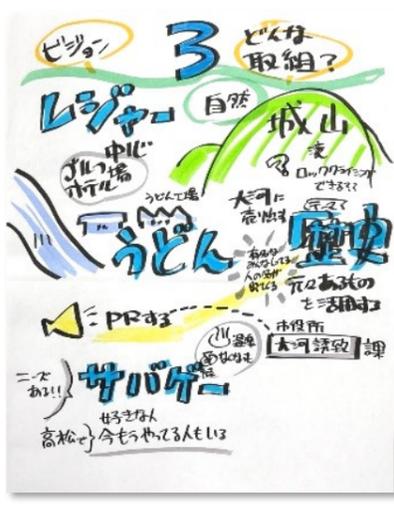
▶1班：中心・南部地域、島しょ部

▶3班：南東地域

▶2班、4班 北東地域 ※選択した人が多かったため、2つのグループに分割

それぞれの地域のビジョン・方向性やそれらを実現するための取組などをグループで対話し、各グループで発表を行い、各地域の方向性等を共有しました。さのさんにも各テーブルに入ってもらい、参加者の意見を可視化していただきました。

各地域の方向性や取組

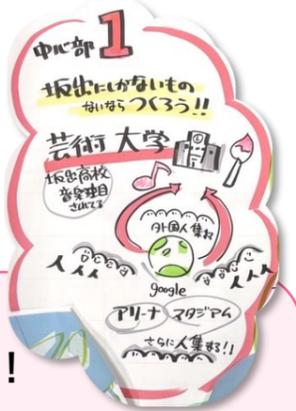


発表



坂出にしかないもので
活気あるまちを！

坂出高校は音楽科があり、県外からも学生が来ているので、音楽・芸術大学を作って若い人たちに来てほしい！瀬戸芸等で、外国人も多く来るので企業を誘致できそう！人が増えると、スタジアム・ホールができ、スポーツの活性化、観光客も増える！



歴史・レジャー・産業を
中心としたまちづくり

城山を中心に大河を呼ぼう！既存の土地ならではの立地を生かし、まちのPRにもなる。今あるドラゴンカヌーとホテル・レジャーなどの複合施設(ファミリー向け)を作りたい！うどん工場、スマートシティならぬうどんシティ！



お祭り復活！
子どものためのお祭りを復活
主催していた人たちは70、80代。
いなくなってしまうとできないので行政
と地域の若者が協力しながら進めて
いけば、瀬戸芸などでPR出来る！



王越体験パーク！
アクセスのいい田舎を活かして、ワー
ケーションや、都会の人たちに農業体
験や古い民家を民泊として使用し、関
係人口を増やす！
外国人居住区を作り、文化の違いから
観光のコンテンツが生まれるのでは？

